

古代の都から、食の未来を考える。

世界が注目する食のイノベーション、奈良に集結！

”10年後の大和飛鳥の食文化”を共に描くワークショップを開催！

IMPROVING THE WORLD THROUGH FOOD 食を通じて世界を改善する

私たちは、地域全体を一つの実験室と捉え、住民や企業、自治体が共に新しい価値を生み出す「リビングラボ」の構築を目指しています。今回はそのキックオフとして、まず世界の先進事例に触れ、地域のポテンシャルを再発見する機会とします。「食」を通じて地域を元気にしたい、「農」の新しい可能性を探りたい。そんな熱い想いをもつ皆様の参加をお待ちしています。次回の参加を強制するものではありません。まずはこの場で、新しいインスピレーションと仲間に出会ってください。

2026年

3月3日(火)

10:00~18:00

受講対象

奈良県内の生産農家、飲食業・観光関係企業
自治体、その他食文化創造に意欲のある方

実施会場

ホテル奈良さくらの郷
〒633-0044 奈良県桜井市高家2220-1

※桜井駅からのタクシー利用（約10分）または
お車でのご来場をお勧めいたします。



受講形態

対面実施

募集人数

25名程度

受講料

3,300円（税込）

お申し込み
はこちら



申込期限：2026年2月22日

講師

リード・ファシリテーター

Future Food Institute (FFI)

アレッサンドロ・フスコ
Alessandro Fusco



ファシリテーター

サラ・ロヴェルシ Sara Roversi

バイリンガル・ブリッジ / 通訳

Ayaka Onodera

ホスト / コ・オーガナイザー

杉村 逸郎（奈良女子大学教授）

水垣源太郎（奈良女子大学教授）



アレッサンドロ・フスコ (Alessandro Fusco)

Future Food Institute イノベーション&コーポレート・エデュケーション・グローバル・ディレクター

「食とイノベーションで、地域と企業の未来をデザインする変革者」 ミラノ工科大学やボローニャ・ビジネススクールで教鞭を執る傍ら、世界各地でフードシステムの変革プロジェクトを主導。元々はシニア・エクスペリエンス・デザイナーとして企業のデジタルトランスフォーメーション（DX）を牽引した経歴を持ち、その後、ワインの作り手の物語を消費者に届けるスタートアップ「WineHoop」を創業。「テクノロジー」と「人間中心のデザイン」、そして「食の伝統」を融合させる独自のアプローチは、欧州のみならず日本国内の企業や自治体からも高く評価されている。複雑な社会課題を、創造的なワークショップを通じて解決へと導くファシリテーションは、参加者に深い気づきと活力を与えてくれる。



Future Food Institute (FFI)

イタリアに拠点を置き、食を通じて持続可能な開発を実現することを目指すグローバルな社会的企業。「気候変動はフォークの先にある」をモットーに教育・コミュニティ構築・イノベーション支援を展開、破壊的アイデアを持つ若き起業家・農家・食のイノベーターのコミュニティの成長、企業や機関のオープンイノベーション推進を支援している。YNK（東京）、ポリカ（イタリア）、モンテパルティ（イタリア）、中東・北アフリカ（MENA）諸国でのリビングラボ運営を通じて、地域資源を活用した再生型社会の実現に取り組んでいる。

【タイムテーブル】 通訳付きです

時間	内容と体験
10:00	オープニング Welcome & “Why Here” 開会の挨拶とストーリーテリングを通して、参加者にローカルな文脈とグローバルな文脈の繋がりを理解します。リビングラボ・アプローチを紹介し、地域に根ざしたコラボレーションやイノベーションに関することばとイメージを共有します。
11:00	各参加者が30秒で自己紹介を行います。
11:15	ビジョン共創セッション Define the Vision, Mission and the Principles 参加者は価値観と戦略的方向性を一致させ、目的を共創します。
12:30	ランチタイム
13:15	重点アクションの探索 Defining Key Focus Areas すべてのステークホルダーが共通の目標に向かって連携できるように、参加者は、ガイド付きディスカッションを通じて、地域とステークホルダーがどのような分野に重点を置いて行動すればよいのかを探求します。優先順位をつけるのではなく、どのようなテーマや機会、制約条件があるのかを明らかにすることを目的としています。
14:45	共有セッション Sharing session 参加者はここまでの結果を共有します。
15:15	休憩
15:45	ロードマップ策定 High-level roadmap: initial framing アイディアを形にするため、重点分野に優先順位を付け、大まかなロードマップと次のアクションを描きます。
17:00	クロージング・サークル Closing Circle 今日一日で得た重要なポイント、新たなパターン、そして未解決の疑問が何なのか、参加者で共有します。結論を導き出すのではなく、学んだことを振り返り、次のステップを明確にすることが目的です。
18:00	終了

※時間・内容は変更になる可能性があります。